

第 1 号議案 平成 28 年度 事業実績及び決算、監査

第 3 次食育推進プラン共通施策「食育への理解と関心を高める」に基づき、市民の食育への理解や関心を高めることを目的に、食育フェスタの開催や郵送、メール配信を利用し情報発信を行った。

1. 食育推進会議

	時期	内容
第 1 回	平成 28 年 5 月 11 日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度事業実績、決算、監査 平成 28 年度事業計画、予算 第 3 次プランに基づく事業計画
第 2 回	平成 28 年 11 月 8 日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 食育フェスタ事業計画詳細 第 3 次プランに基づく事業の進捗状況

2. くるめ食育フェスタ 2016

日 時：11 月 12 日(土)13 日(日) ※第 42 回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：久留米百年公園リサーチセンタービル展示場内

来場者：68,000 人(12 日:33,000 人、13 日:35,000 人)(農業まつり実行委員会公表値)

【展示・相談コーナー】

部会及び食育関係団体が出展し、食育関係資料の展示や配付、食に関するクイズや相談を行った。

出展団体	内容
子ども食育部会	子ども向け食育クイズ、子どもたちに食べさせたい料理採用作品展示、H27 年度食育モデル園紹介
食と健康部会	『味博士になろう』 1 日に摂取している食塩量のクイズ、すまし汁の飲み比べ(味覚)、お菓子や飲み物に含まれる砂糖量のクイズ
地産地消部会	催し広場 地産地消推進店通りの設置(8 店舗)
食の循環部会	生ごみリサイクルから元気野菜づくり、段ボールコンポスト、無駄なく使いいきりレシピ配布
久留米信愛女学院短期大学	フードデザイン学科の食育活動等ポスター展示
久留米市栄養教諭等研究会	やさい博士/おはし名人/クイズやゲームにチャレンジ
(公財)福岡県学校給食会	学校給食の歴史に関する展示
久留米市食品衛生協会	手洗いチェッカーを使った手洗い体験
久留米ヤクルト販売株式会社	腸とウンチのクイズに挑戦!



(子ども食育部会)



(食と健康部会)



(地産地消部会)



(食の循環部会)

【体験コーナー】（コーナー数：15、総参加者数：514名）

	開始	題名	担当	参加人数
12日 (土)	10:30	米粉ちぢみ作り体験	久留米市食生活改善推進員 協議会	20組46名
	11:00	久留米産リーフレタスを使ったブーケサ ラダ作り	キューピー株式会社	20組39名
	11:30	野菜の皮・芯・まるごと使いっきり！ふり かけ&ベジブロススープ作り	久留米市食育推進会議 食の循環部会	30組60名
	12:00	久留米産そば打ち体験	そば生産組合	8組10名
	12:30	美味しい出汁の取り方。出汁を使ったお浸 しと味噌みそ汁作り	一般社団法人 MOA インター ナショナル	3組8名
	14:00	親子で作ろう簡単おやつ	久留米市食育推進会議 子ども食育部会	12組20名
	15:30	野菜の皮・芯・まるごと使いっきり！ふり かけ&ベジブロススープ作り	久留米市食育推進会議 食の循環部会	22組47名
13日 (日)	10:30	おいしいお出汁のワークショップ	スローフード協会筑後平野	16組23名
	10:30	みそまる作り	スローフード協会筑後平野	6組20名
	11:30	だご汁作り	スローフード協会筑後平野	20組29名
	11:30	久留米産リーフレタスを使ったブーケサ ラダ作り	キューピー株式会社	20組51名
	12:30	お米とお話しと食べ比べ	スローフード協会筑後平野	19組28名
	12:30	久留米産の米・野菜で作るくるっば巻き寿 司作り	久留米市産米推進協議会	32組64名
	13:30	お豆腐作り	スローフード協会筑後平野	14組32名
	14:30	J Aにじの田主丸産トマトピューレを使っ た料理教室	スローフード協会筑後平野	20組37名

262組 514名



(田主丸産トマトピューレの料理教室)



(リーフレタスを使ったサラダ作り)

3. 「食育友の会」食育啓発事業

- ・ イベントや食育に関する情報提供（郵送 2 回、メールマガジン 12 回）
※ 食育友の会会員 H29. 3. 31 末現在 255 人 （前年比▲12 人）

4. 職場への食育啓発

- ・ 商工政策課が発行している産業ニュース（メールマガジン）を活用し、毎月 19 日に「食育通信」を送信し、市内約 2,000 事業所向けに食育推進の啓発を行った。
- ・ 毎月 19 日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、情報発信を行った。
（食育友の会、小中学校、校区コミュニティー組織、久留米市職員へ向けたメール）
- ・ 久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として、早く帰宅して家族との食事を楽しむことを呼びかける取組を行った。

平成28年度食育推進事業決算

(収入)

(単位：円)

項 目	H28予算	H28決算	比較増減	内 訳
市補助金	2,360,000	2,178,457	▲ 181,543	181,543円を市へ戻入
雑入	0	11	11	
合 計	2,360,000	2,178,468	▲ 181,532	

(支出)

(単位：円)

項 目	H28予算	H28決算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	200,000	147,673	▲ 52,327	会議計2回（謝金等）
事業推進費	2,160,000	2,030,795	▲ 129,205	
合 計	2,360,000	2,178,468	▲ 181,532	

監 査 報 告 書

久留米市食育推進会議の平成28年度事業ならびに運営について、平成28年度事業実績、及び、決算に基づき出納簿、領収書、その他関係書類を監査したところ、一部において事務の誤りが見受けられたので、今後は適正な会計処理に取り組まれない。

久留米市食育推進会議会長 橋本 政孝 殿

平成29年 7月 4日

監事 宮本 則昭



平成29年 7月 3日

監事 北原 9 実



第 2 号議案 平成 29 年度 食育推進会議 事業計画（案）、予算（案）

1. 食育推進会議の開催

第 3 次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行います。

	時期	内容
第 1 回	平成 29 年 7 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業実績、決算、監査 ・平成 29 年度事業計画(案)、予算(案) ・第 3 次プランに基づく事業計画
第 2 回	平成 30 年 2 月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 次プランの事業の進捗状況

2. くるめ食育フェスタの開催

市民への食育推進のシンボルイベントとして「くるめ食育フェスタ 2017」を開催します。

体験等を通して、市民の食育への関心の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践できるよう啓発を行います。

日 時：平成 29 年 11 月 11 日(土)、12 日(日)

※第 43 回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：久留米百年公園リサーチセンタービル展示場内

内 容：調理体験などの体験コーナー
食育関係資料などの展示コーナー
食に関する相談やクイズ など

3. 「食育友の会」食育啓発事業

- ・イベントや食育に関する情報提供（メールマガジン等）の実施。

4. 職場への食育啓発

- ・市内事業所向けに食育推進の啓発を行う。
- ・毎月 19 日の『食育の日』に「食育通信」を発送する。
(食育友の会、小中学校、校区コミュニティー組織、久留米市職員へ向けたメール)
- ・久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として呼びかける取組を行う。

Ⅱ. 平成29年度 食育推進会議 予算（案）

（収入）

（単位：円）

項 目	H29予算	H28予算	比較増減	内 訳
市補助金	2,423,000	2,360,000	63,000	
合 計	2,423,000	2,360,000	63,000	

（支出）

（単位：円）

項 目	H29予算	H28予算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	167,000	200,000	▲33,000	会議計2回（謝金5,300円×15人×2回） 消耗品費等
事業推進費	2,256,000	2,160,000	96,000	食育フェスタ（開催費） 多面的機能チラシ印刷
合 計	2,423,000	2,360,000	63,000	

第3次食育推進プランに基づく 平成28年度事業実績・平成29年度事業計画

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育	1-1	ページ
基本施策Ⅱ	健全な食生活を推進する食育	1-5	ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育	1-7	ページ
基本施策Ⅳ	環境との調和を図る食育	1-8	ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	1-9	ページ

＜基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育＞

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策1 食に関する指導の充実

①	久留米市栄養教諭等研究会の活動の推進	栄養教諭等が行う食育の授業や短時間の食育指導を市内全小中学校において実施し、食に関する指導の充実を図ります。	○4班に分かれて食に関する指導の内容充実を目的に、班別研修で実践の紹介や教材作成等の取組を行った。 ○栄養教諭未配置の中学校において、1年生を対象に、配膳指導、遅食・偏食生徒への個別指導、食育啓発活動を実施。(10校/10校中)	686	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭等が配置されていない中学校における食に関する指導を充実する。	686	学校教育課
		料理教室の開催、保護者や教職員向けの通信等の作成・配布など、授業以外での食育推進活動についても支援し、その充実を図ります。	○「親子料理教室」において、食の重要性や地元農産物への理解を深めるよう、調理指導を行った。(実施校数:9校、参加人数258人) ○教職員向けの情報通信「もぐもぐ通信」において、授業実践の内容や食育プログラムの内容を発信。(発行回数:3回) ○「朝ごはん摂取率」向上のため、学校が行う食育推進支援事業に対して助成を行った。(実施校数:小13校、中2校)		○食への関心を高める「親子料理教室」や「お弁当の日」を開催。 ○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」の作成・配布(年3回)。 ○「朝ごはん摂取率」向上へ向けた子どもや保護者への啓発。		学校教育課

●個別施策2 家庭への食育啓発の促進

①	食育啓発促進校のPTAが行う食育啓発への支援	食育啓発促進校に指定された学校(市内小中学校から年間5～6校)のPTAが行う食育啓発の取組を支援します。	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図った。 ＜H28年度促進校＞ 長門石小・山川小・下田小・竹野小・明星中 ＜活動内容＞ 食に関するアンケート、生活リズムカード講演会、親子料理教室、お弁当の日の取組 保護者の給食試食会、みそ作り体験、明治食育出前授業 PTAによる「朝食に活用ウイナー」学習会と通信の発行 など	500	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図る。 ＜H29年度促進校＞ 山本小・船越小・青木小・京町小・城南中 ＜活動予定＞ 食に関するアンケート、生活リズムカード講演会、親子料理教室、お弁当の日の取組など	500	学校教育課
		促進校に指定された学校が、成果や課題を次年度以降の取組に反映させるように支援を行います。	○平成27年度促進校の東国分小学校のPTAが『優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰』を受賞。28年度以降も「食と性をつなげる生教育」として取組を継続している。		-		○促進校が継続的に取り組むことができるよう、情報提供や働きかけを行う。

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策3 学校給食を通じた食育の推進

①	給食時間における食に関する指導	学校給食が、教科等と関連した「生きた教材」として活用されるよう、給食時間における食に関する指導の年間計画を作成します。	○食に関する指導の年間計画に基づき、教科等で取り上げられた食品や学習したことが確認できる献立を実施した。 (教科等と関連した給食献立導入数:19回)	-	○食に関する指導の年間計画に基づき、教科等と関連付けた指導が行えるよう、献立の工夫を行う。	-	学校保健課
		献立のねらい(栄養バランスやかむこと等)に基づいた給食指導資料を作成し、給食時間の放送資料として配布します。	○給食時間に、献立に関連した放送を実施し、子どもたちへの食指導を行った。 また、学校給食に関する標語の募集を児童生徒を対象に行い、最優秀作品は献立表や給食だよりに掲載した。 (応募総数:3,522作品) (最優秀作品:「元気になるよくる米の食べ物 大すきさ」)	-	○献立のねらいと「給食」という体験を通じた、給食時間における指導の内容充実を図る。	-	学校保健課
		子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、給食だよりの発行や試食会の開催等で、家庭への食育啓発を行います。	○食に関する情報を掲載した献立表や給食だよりの発行、給食試食会等で食に関する講話の実施など、家庭への啓発を行った。	-	○児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信する。また、保護者や地域の方に対し、試食会を開催する。	-	学校保健課
②	学校給食への久留米産農産物の導入促進	毎月2回、久留米産の米を使用した主食(ご飯、米粉パン)と旬の久留米産野菜を使用した副食による「地場産の日」を実施します。	○久留米産農産物を多く使用した献立「地場産の日」を毎月2回実施した。久留米産米の消費拡大を図るとともに、久留米産農産物の利用拡大・普及啓発に努めた。	-	○毎月2回、「地場産給食の日」の実施により、子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図る。	-	学校保健課
		久留米産農産物の積極的な活用を念頭に置いた献立年間計画を作成するとともに、新規献立を考案し、実施献立について工夫改善を行います。	○献立年間計画を基に、学校給食献立を作成し、新規献立の開発や実施献立についての工夫・改善を行った。 (新献立導入数:32品)	-	○地産地消の推進などを目的として、久留米産米による米飯給食を週4回に拡充する。また、献立年間計画を基に、地元食材を使った献立の開発など、学校給食への久留米産農産物の導入促進を図る。 【拡充】	-	学校保健課
		学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを行い、調理技術スキルと意欲を高め、学校給食における食事内容の充実と多様化を図ります。	○地元食材等を使った献立の開発を行うとともに、学校給食料理コンクールを開催した。 市:参加21チーム 1位宮ノ陣小 2位善導寺小 3位山川小 県:参加29チーム 県学校給食会賞 佳作 宮ノ陣小	-	○学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを実施する。 日程:平成29年8月17日(木)	-	学校保健課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策4 保育所、幼稚園、認定こども園での給食や活動を通じた食育の推進

①	子どもに適した給食の提供と食育活動の継続	各園で実施されている給食について、子どもたちの発育・発達、健康状態、生活状況などに応じて給食の提供が行われるよう、適切な食事計画や献立作成を行うための情報提供や研修等を実施します。	○施設向け研修会の実施 計15回/年 (参加人数 計620人)。 【内訳:対象施設・実績・主な内容】 公立保育所・5回(40人)・給食調理の衛生及び誤食等の危機管理について 保育所・8回(506人)・食物アレルギー対応について 認定こども園・1回(13人)・園での食育の取組みに関するグループ討議 保育所、認定こども園、幼稚園・1回(61人)・食育の基本や園での食育の取組み方法、市食育推進計画について ○認可保育所等で、3歳以上児へ主食提供給食の充実及び家庭の負担軽減等を図った。	44,072	○施設向け研修会の実施(計15回/年) 公立保育所・5回 保育所・8回 認定こども園・1回 保育所、認定こども園、幼稚園・1回 ○認可保育所等での3歳以上児への主食提供給食の充実及び家庭の負担軽減等を図る。	57,776	子ども施設事業課
		各園の食育計画に基づいた食育実践の取組を継続するとともに、市食育事業に関する情報提供を行い、地域と連携した活動の充実を図ります。	○園児向け食育の取組状況 (保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査結果より、複数回答) 【取組をした項目・回答割合】 栽培及び収穫体験・91%、クッキング保育・87%、食べ物や栄養の話・80%、地域の方との食を通じたふれあい・41% 等		○各園において、食育計画等に基づき、クッキングや食育講話などの食育の取組を継続する。		
②	保護者への食支援	おたよりの発行、給食試食会や親子クッキングの実施、保護者向け食育講座の開催など、保育所、幼稚園、認定こども園を拠点として、家庭を含めた保護者への食支援を行います。	○保護者向け食育の取組状況 (保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査結果より、複数回答) 【取組をした項目・回答割合】 食育だより・79%、給食試食会・73%、給食展示・69%、食事相談・45% 等 ○園と連携し、保護者向け食育に取組んだ(計5園/年、参加人数 計222人)。 【内訳:対象施設・実績・主な内容】 保育所・3園(110人)・講演会、調理実習 認定こども園、幼稚園・2園(112人)・講話、調理実習		○食育講演会やクッキング、食育に関するアンケート実施など、保育所や幼稚園、認定こども園を拠点とし、家族を含めた保護者への食育啓発を行う。		子ども施設事業課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策5 子育て支援事業等を通じた食育の推進							
①	地域子ども 子育て支援 センター等 での食育事 業	食育講座、離乳食相談会の開催など、地域子育て支援センター等の子育て支援施設を拠点として、子育て支援事業を通じて共食など家庭での正しい食習慣の推進を図ります。	○食育事業の実施 計21回/年(参加人数計281人) 【事業名・依頼施設又は団体・実績・主な内容】 食育講座・地域子育て支援センター・4回(90人)・幼児食の講話と調理実習 離乳食相談会・子育て交流プラザくるるん・12回(72人)・離乳食の講話と相談 出前講座・児童センター、校区コミュニティセンター久留米大学子育てサロン等・5回(119人)・講話や調理実習、相談 等	49	○子育て支援事業を通じて、共食など家庭での正しい食習慣の確立のため啓発を行う。 ・食育講座(幼児食の講話及び調理実習) ・離乳食相談会 ・出前講座(乳幼児の講話及び調理実習)	55	子ども 政策課 子ども 施設事 業課
②	幼児の食に 関する情報 の提供	冊子やインターネットなど様々なツールを使った幼児食レシピ等の紹介や正しい食習慣についての情報提供、食育イベント等での啓発により、幼児の食に関する情報提供を充実します。	○子ども達に食べさせたい料理レシピ集(総集編)の作成・配布 14,000部作成、保育所・認定こども園・幼稚園に通う保護者等に配布	317	○乳幼児の食に関する情報を提供するための啓発冊子を作成し、保護者や市民に配布する。 (14,500部作成、配布予定)	408	子ども 施設事 業課
③	多様な暮らしに配慮した子どもへの食支援	様々な事情を抱えた子どもへの食事の提供や地域との交流などを支援し、食生活の向上と望ましい食習慣の形成を図ります。	○子ども食堂事業(H28.6～)運営費・施設整備費の助成 ・子ども食堂実施団体数:6団体 ・延べ実施回数:118回 ・延べ参加者数:3,056人	1,540	○市内において子ども食堂事業を実施する団体に対し、運営または施設整備にかかる費用を助成する。 (助成団体(見込)数:10団体)【拡充】	3,500	子ども 政策課

《基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策1 次世代に伝えつなげる若い世代への食育の推進

①	高校生・大学生への食育推進	高校生・大学生等を対象に講話や実習による食育教室を実施します。	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話や調理実習を行った。 【実施数 7校】	46	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話や調理実習を行います。	225	健康推進課
		食に関する情報提供や食育イベント等で正しい食選択が出来るように支援します。	○健全な食生活に関する情報提供 高校・大学等に「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関するポスター等を設置し、普及啓発を図った。 【実施数 8校】 ○食育啓発イベント 久留米大学(御井キャンパス)学園祭にて食育コーナーを設置した。 【実施日 平成28年10月29日】	42	○健全な食生活に関する情報提供 高校・大学等に「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関するポスター等を設置し、普及啓発を図ります。 ○食育啓発イベント 久留米大学(御井キャンパス)を予定	35	健康推進課
②	母子保健事業における食育推進	妊娠届出の際に、妊婦の健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、必要な食生活指導等を行います。	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行った。 【実施者 1,550名】	-	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行います。	-	健康推進課
		離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、子どもだけでなく大人も含めた食生活支援に努めます。	○離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図った。 【離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回、集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)44回】	-	○離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図ります。 【離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回 集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)44回】	-	健康推進課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策2 生活習慣病予防・改善のための食育の推進

①	健康づくりを支える環境整備	くるめ健康づくり応援店事業により、市内の飲食店や食料品販売店等で健康情報提供や栄養成分表示などを行い、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、ポスターやポップにより「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進めた。 【登録数 180店、ガイドブック8,000部】	387	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、5月より「くるめ健康づくり応援店アプリ」を配信し、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進めます。【拡充】	519	健康推進課
②	地域における生活習慣病予防のための食育の推進	食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行います。	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行い、「主食・主菜・副菜をそろえること」などをレシピや配布資料に盛り込み、普及啓発を図った。 【実施回数114回、参加者数 2,069名】	1,846	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行います。「主食・主菜・副菜をそろえること」などをレシピや配布資料に盛り込み、普及啓発を図ります。	2,028	健康推進課
③	健診事業における食育推進活動	健康管理ブック等で、主食・主菜・副菜をそろえた食事などの情報提供を行います。	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行った。 【健康管理ブック配布数 23,000部】	-	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行います。	-	健康推進課
		特定保健指導や糖尿病予備軍・高血圧予備軍を対象とした保健指導や教室を実施します。	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施した。 ①特定保健指導 ②早期介入保健指導 ③血圧改善支援事業 ④お腹まわりすっきり相談 ⑤重症化予防事業	-	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施します。 ①特定保健指導 ②早期介入保健指導 ③血圧改善支援事業 ④お腹まわりすっきり相談 ⑤重症化予防事業	-	健康推進課
④	高齢者事業における食育推進	介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報発信に努めます。	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行った。 【おたっしや出張講座 142回、参加者数2,996名】	-	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行います。	-	長寿支援課

〈基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育〉

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進

①	農業体験の場の提供	市内の小中学校での学童農園活動を支援し、小学校での農業・農村への理解促進を図ります。	○農業団体等が市内の小中学校で実施する学童農園事業を支援し、児童の農作業体験や農業への理解促進を図った。(40校/46校)	4,000	○農業生産者と児童とが農作業の体験・交流を通して農業への理解を深めるため、農業団体等が市内の小中学校で実施する学童農園事業を支援する。	4,600	生産流通課
		小学校を中心に、本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能などを学ぶ農業体験学習を推進します。	○環境保全課作成の「くるめ生きものプラン」の中で多面的機能を紹介し、周知を行った。 ○多面的機能に関するパネルを作成し、地域の農業関連イベントや環境交流プラザで展示した。	-	○本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能についてのチラシを作成し、「久留米市農産物学校配布事業」とともに配布を行う。 【新規】 ○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザで農業の多面的機能や食育のパネル特別展示を実施する。	63	農政課
		土づくり広場での農業体験を実施するとともに、農業者が行う消費者交流事業を支援します。特に、栽培過程全体を体験することで農業への理解を深めることができるように事業の見直しを推進します。	土づくり学習及びジャガイモの収穫体験を実施し、食育や、環境保全型農業への理解促進を行った。(参加者150名)	798	○JAくるめ西部土づくりセンターでの土づくり学習、及び同センターで製造された良質堆肥を使用して栽培された作物の収穫体験を実施し、食育について学び、市民の環境保全型農業への理解促進と、食と農に対する理解向上を図る。	1,000	生産流通課
②	食と農の情報発信	農業まつりの開催による生産者と消費者の交流や農業・農村の多面的機能について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進します。	第42回ふるさとくるめ農業まつりを11月12日(土)、13日(日)に開催し、体験コーナー、パネル展示を通し情報発信を行った。(来場者68,000人)	8,934	○農業まつりや地域の農業関係イベントで農業の多面的機能や、地産地消の取組について紹介する。	8,934	農政課

●個別施策2 地産地消の推進

①	地産地消を進める環境整備	市民や事業者へ久留米産農産物であることを分かりやすくするため、流通過程における「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークの貼付を推進します。	○JAくるめ、JAみづま、近郊出荷者連合会に対し支援を行った。 JAくるめ: 茄子、ほうれん草の包装用フィルム JAみづま: はとむぎ加工品の表面ラベル 近郊出荷者: 小松菜の包装用フィルム	700	○久留米産農産物の認知度向上を目的に、ロゴマーク「キラリ久留米(くるっば)」を活用した、久留米産農産物の包装資材やシールの作成に対する支援を行う。	1,500	農政課
		地産地消推進店等での、久留米産農産物の表示の支援を行い、市民が購入・消費しやすい環境を整備します。	○久留米産農産物の産地表示のためのPRリボン、スイングポップを作成し、配付を行った。(PRリボン: 60枚、スイングポップ: 1500枚) ○地産地消推進店冊子の作成(6,500枚)	1,052	○JAの直売所やインショップなどで、個々の店舗に応じた、久留米産農産物のPOP等を作成し、表示の強化を行う。 【拡充】 ○地産地消推進店の冊子を作成する(6,500部)	820	農政課
②	地産地消の意識啓発	地産地消をテーマにした料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消への意識向上を図ります。特に、男性や子育て世代への参加を促進します。	○食生活改善推進員協議会と連携し、料理講習会を30回開催。内2回はPTA協議会と連携実施。(子育て世代: 68名/720名)(男性: 66名/720名) ○ゆめタウン久留米のABC Cooking Studioで子育て世代向け料理講習会を1回開催。(子育て世代33名/38名)(男性: 1名/38名) ○商工会議所と連携し、柿を使ったアイデアレシピコンテストを実施。(応募181名) ○久留米産農産物のレシピ集を作成し、公共施設やイベント、団体等を通じて配付した。(久留米産農産物レシピ集: 3,600部)(柿のアイデアレシピ: 10,000部)	1,869	○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域にて久留米産農産物を使った料理講習会を実施する。また、子育て世代向けの料理講習会を拡充し実施する。 ○商工会議所と連携し、サラダ菜を使ったアイデアレシピコンテストを実施する。 ○地産地消レシピやサラダ菜のアイデアレシピ集を作成する。	1,915	農政課

《基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策1 食と環境について考え学べる食育

①	環境まなび のまちづくり の推進	生ごみ堆肥化や野菜づくりを指導する生ごみリサイクルアドバイザーを保育所、幼稚園、小中学校等に派遣し、体験を通して「食の循環」による食育の推進を図ります。特に地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大し、子どもから大人まで環境に配慮した食生活を送る市民を増やします。	○給食調理くずや家庭から出た生ごみを使って堆肥化や野菜づくりを指導し、体験を通して、「命を大切にする心」「もったいないの心」と「ものを大切に作る心」を育む派遣事業を実施した。 派遣回数:36回 参加者数:1,727人 派遣施設:27施設 (保育園11・小学校7・中学校1・地域8) ※新規9施設	180	○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を未実施の小学校や地域に拡充し、生ごみの堆肥化・野菜づくりの体験やエコ・クッキングを通して、「命を大切に作る心」「もったいないの心」と「ものを大切に作る心」を育む取り組みを進めます。	350	資源循環推進課
		家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーを育成します。	○食育講演会や生ごみリサイクル講習会の参加を促し、生ごみ減量・堆肥化や野菜づくりの知識を深め、リーダーとしての育成に務めた。	-	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促す。併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図る。	29	資源循環推進課
		宮ノ陣クリーンセンター「環境交流プラザ」を拠点として、食育講演会、リサイクル講習会、3R学習会を実施し、食品ロスの抑制など持続可能な社会の実現に向けた食育の推進を図ります。	○サンデーリサイクルやイベント等で生ごみリサイクル講習会や食育講演会を実施した。また、パネル等掲示により食品ロス削減推進を行った。 ・食育講演会:7回 参加者数:611人(幹旋含) ・各種講習会:15回 参加者数:670人 ・3R学習会:25回 参加者数:1,314人 ○飲食店等を訪問し、アンケート調査と食品ロス削減の啓発を実施した。 訪問件数:176事業所、食品ロス削減推進県民運動協力店「食べもの余らせん隊」(県事業)125店舗が登録	223	○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザでの講演会等の開催 ○環境学習の拠点として整備された同プラザにおいて環境学習等を実施し、環境に配慮した食育の推進を図る。	336	資源循環推進課
	食やエネルギーを無駄にしない環境にやさしい料理講習会を開催し、環境に配慮する食生活を推進します。	○栄養が豊富で生命力のある野菜の皮や芯を丸ごと料理する方法や元気な心と体づくりの食生活改善を促進した。 講座3回 3Rまつり・食育フェスタ・食育講座(小森野小) 参加人数:374人、		○食品ロスについての理解を深め、作り過ぎない、野菜の皮を厚くむくなど過剰な除去を減らす、無駄なく食べきるための方法、廃棄をなくすための保存方法などを学べる場を提供する。		資源循環推進課	

《 共通施策 食育への理解と関心を高める 》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H28年度事業実績	28年度 決算額 (千円)	H29年度 事業計画	29年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	------------	---------------------	-----

●個別施策 市民全体を対象とした情報発信

①	食育に関する事業・イベント等の情報提供	市民への食育啓発のシンボルイベントとして「食育フェスタ」を開催します。	○くるめ食育フェスタ2016の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」との同時開催し、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行った。また、市民団体との協働により開催した。 日時:平成28年11月12日(土)、13日(日) 会場:久留米百年公園リサーチセンタービル 参加者:68,000人 (12日 33,000人、13日 35,000人)	2,030	○くるめ食育フェスタ2017の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」との同時開催により、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行うことを目指す。また、市民団体との協働により開催する。 日時:平成29年11月11日(土)、12日(日) 会場:久留米百年公園リサーチセンタービル	2,193	農政課
		食育通信の発行や市ホームページ、広報誌を活用し、市民への食育に関する情報を積極的に発信します。	毎月19日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、商工政策課が発行している産業ニュース(メールマガジン)にて食育推進の啓発を行った	-	・「食育友の会」に対して、イベントや食に関する様々な分野の情報を発信する。 ・商工労働ニュースや産業ニュース等を活用し、職場での食育の取組について啓発を行う。	-	農政課

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

資料 2

基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	栄養教諭等が食育の授業や短時間の食育指導を実施した学校数の総計	%	53/63校 (84%) H27年度	63/63校 (100%)	63/63校 (100%)	+10校 (+16pt)
個別 施策 2	食育啓発促進校に指定された学校の総計	%	34/63校 (54%) H27年度	39/63校 (62%)	63/63校 (100%)	+5校 (+8pt)
	朝食を欠食する小・中学生の割合	%	小学生 1.2% 中学生 1.9% H27年度	小学生 1.5% 中学生 2.8%	小学生 0.8% 中学生 1.8%	小学生 +0.3pt 中学生 +0.9pt
個別 施策 3	残食率の平均値	%	小学校 米 2.4% パン 3.4% 副食 2.2% 中学校 米 4.7% パン 3.5% 副食 3.2%	小学校 米 2.3% パン 3.1% 副食 2.4% 中学校 米 2.4% パン 2.5% 副食 1.7%	小学校 米 2.0% パン 3.0% 副食 2.0% 中学校 米 4.0% パン 3.0% 副食 3.0%	小学校 米 ▲0.1pt パン ▲0.3pt 副食 +0.2pt 中学校 米 ▲2.3pt パン ▲1.0pt 副食 ▲1.5pt
	学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合	%	49%	44%	50% (20t増)	▲5pt
個別 施策 4	保護者に対して2種類以上の食育啓発を行っている保育所・幼稚園・認定子ども園の割合	%	83.5% (81/97園)	91.7% (88園/96園)	100% (96/96園)	+8.2pt (+7園)
個別 施策 5	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間当たりの「共食」の回数	回	(H28年度実績値)	12.7回/週	+1回/週	-

基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	食育の取組を行う高校・大学の割合	%	72% (13/18校)	67% (12/18校)	100% (18/18校)	▲5pt (▲1校)
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の「一週間当たりの共食」の回数	回	(H28年度実績値)	12.7回/週	+1回/週	-
個別 施策 2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	%	56.7%	57.5%	75%	+0.8pt

基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	農業・農村の多面的機能について学ぶ小学校の割合	%	0% (0/46校) H27年度	0% (0/46校)	100% (46/46校)	±0pt
個別 施策 2	地産地消を意識している市民の割合	%	49.4%	56.8%	65%	+7.4pt
	料理講習会の男性参加率と子育て世代の(40歳代までの)参加率	%	男性 11.2% 子育て世代 5.6%	男性 8.8% 子育て世代 13.3%	男性 17% 子育て世代 12%	男性 ▲2.4pt 子育て世代 +7.7pt

基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	生ごみリサイクルに取り組む団体数	件	92件	106件	121件	+14件

共通施策 食育への理解と関心を高める

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	食育に関心を持つ市民(20歳代、30歳代)の割合	%	68%	72.9%	73%	+4.9pt